

マレーグマ「ウッチー」の死亡について寄せられた
ご意見・ご質問と円山動物園からの回答

番号	いただいたご質問・意見	回答
1	<p>同居の手法に関するご意見・ご質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均寿命を大きく超えたウッチーに繁殖能力があったのか ・なぜいきなり同居させたのか、同居させるにあたっては、もっと細やかな観察と対応が必要だったはず ・どのように引き離す予定であったのか ・2頭を引き離す方法は事前に用意されていたのか <p>他</p>	<p>平成 27 年 4 月 2 日の課内全体会議において、今年度、ウメキチの性成熟に伴い、マレーグマの繁殖(同居訓練を含む)を開始することを決定し、課として合意形成していたところでしたが、精神安定剤等を使用するか否か、同居の開始時期・方法、同居に際しての監視体制等についての詳細な合意形成はしていませんでした。</p> <p>なお、6月に同居を開始するにあたり、年齢的にはウメキチの繁殖相手はハッピーとしていましたが、最終的には3頭を同居させ、お互いになれることにより、ウメキチがメスたちに対して落ち着いた行動がとれることを期待して、3頭同居を飼育展示課として決定いたしました。</p> <p>この理由として、①ウメキチはまだ若く、過去に他のオスと同居生活をしてきた経験のあるウッチーをも同居させることで、時間経過によりウメキチがハッピーへ接することに慣れることを期待したこと、②ウメキチとハッピーに小ぜり合いが続くこととなった場合には、もう1頭がいることで闘争への抑止を期待したこと、③同居訓練の前段階として、同居を続けてきたウッチーとハッピーを分けると、ハッピーが落ち着かなくなったことによります。</p> <p>なお、同居の前に、闘争対策として事前に仕切り扉を 10cm 程度開けた状態でのお見合いを複数回実施していました。</p> <p>3頭の同居時の闘争対策としては、屋外展示場～寝室、屋外展示場～屋内展示場の扉を開放し、いつでも逃げ込めるようにし、逃げ込んできた場合はすぐ仕切り扉を閉められるように準備していました。</p> <p>また、背中などに深刻な咬傷を受けるような相当程度激しい闘争となることが予測される場合に、両者を分離するための放水と気を散らすための餌撒きが屋上から行えるように</p>

		<p>屋上への飼育通路確保を行っておりました。</p> <p>同居に当たっては、職員は必ず付いて観察をしながら進めていました。なお、担当職員のみの日もあり複数人でない場合もありましたが、無線にて近くにいる職員をすぐに呼び出せるような体制をとっておりました。</p>
2	<p>同居訓練の継続実施に関するご意見・ご質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜこれまでも闘争が起きている 2頭の同居訓練を継続したのか ・どうして、あのような訓練が必要だったのか <p>他</p>	<p>同居開始日(6月16日)は、ウメキチがハッピーに攻撃を受けており、また2頭のメスから逃げ回るなど、3頭内の順位はウメキチが最下位であったと考えられました。</p> <p>その後、ウメキチとハッピーの2頭同居を試みましたが(6月19日、約1時間の同居)、同居後半にハッピーはウメキチを追い込む形になっておりました。</p> <p>これはウメキチが性成熟後、他個体との同居が初めてであり、他個体に対しどのような接すればよいかわからないからであること、またハッピーは、やはりウッチーとの分離に不安があるのではないかと推定しました。</p> <p>このままでは、今後、交尾等に達することが難しいであろうと考え、同居訓練開始当初から、多少の争いは想定したものの、同居の経過を経て‘仲が良い状態’にまでもって行き、ウメキチもハッピーも落ち着くことを期待しました。</p> <p>この後は、2頭同居(ウメキチとハッピー、又はウメキチとウッチー)及び3頭同居を試みながら、ウメキチやメスたちの行動を観察することとしました。</p> <p>ウメキチとウッチーの同居訓練(6月20日及び26日)においては、それぞれ数分間の闘争があり、3頭同居訓練(7月6日)においては、ウッチーとウメキチが闘争したのち、ウメキチがハッピーに追い込まれた形となりました。</p> <p>これらについて課及び係としては、担当飼育員等から飼育日誌や口頭にて報告を受けていたところであり、担当飼育員、獣医師等が闘争の程度を見極めたうえで、いくら時間を</p>

		<p>かけても'仲が良い状態'にまで持っていか そうになれば、今後は中止も視野にいれる 予定をしていたところでしたが、担当飼育員 に対し「同居中止」の場合の目安について具 体的な指示は出してはいませんでした。</p> <p>なお、担当飼育員は7月24日の闘争の状況 を見て、この日限りでウッチーを同居訓練に 加えることについては終了する必要があると 認識していました。</p>
<p>3</p>	<p>闘争が起きているにもかかわらず引離さな かったこと、獣医師の判断に関するご意見・ ご質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視のスタッフはいなかったのか ・闘争を途中でやめさせようとしな かったのか ・闘争しているときに、職員はどう 判断したのか ・抗生剤を与える程の怪我を確認し ながら同居を続けさせた理由は 他 	<p>7月24日は、近くに職員を配置していたも のの、同居中の観察は担当飼育員1名のみで 行っていました。</p> <p>同居直後から、ウメキチはウッチーに対 して積極的に背面に回ろうとして、それを嫌 がったウッチーを押しえつけようとしてい ると推測したところでした。</p> <p>闘争のあった約20分間、結果的にウッチ ーはウメキチに向かい合う態勢となったり し、ウメキチがウッチーに噛みつき、力 づくで抑え込むような行動となりました。 しかし、首・背中への大きな咬傷となる ような闘争とは捉えられず、また正面か らの攻撃等もなく、致命的なことにな るとは考えていませんでした。</p> <p>なお、7月24日は、骨折やヘルニアにつ いての発生を疑うような外観所見が見られ なかったことから、当日は麻酔処置をかけた レントゲンによる確認等は行わず、翌日の 経過を見ようと考えていました。</p>
<p>4</p>	<p>お客様が見ている前で事故が 起きてしまったことに関する ご意見・ご質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物園は動物同士が殺し合いをす るところを見せたいのか ・こんな光景を見せるのが動物園な のか 他 	<p>あのような激しい闘争の様子をご覧いた だくことになってしまい、大変申し訳なく 思っております。</p>

<p>5</p>	<p>このたびの事故が動物虐待であるのことに 関するご意見・ご質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明らかに虐待である ・ウッチーは円山動物園に殺されたのも同然だと思 う ・命を扱っている仕事であること認 識してもらいたい <p>他</p>	<p>当園としましては、決して虐待の意図はご ざいませんでした。</p> <p>ウッチーを死なせてしまったという事実か ら、7月24日の訓練は実施方法・その後の対 応などが不適切であったと考えております。</p> <p>当園に寄せられたたくさんのご意見を真摯 に受け止めたいと思っております。</p> <p>現在、同居方法も含めた飼育展示方法につ いて、『動物の愛護及び管理に関する法律』に 基づき、札幌市動物管理センターから指導・ 助言を仰いでいるところです。</p>
<p>6</p>	<p>今後の再発防止・改善策に関す るご意見・ご質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のような事故の原因の究明 と、再発防止のためにどのような 対策がとられるのか ・ウッチーの死亡原因について、管 理責任があるのかないのか、第三 者委員会等を設けて、公正かつ専 門的な知見から検証されること を求む ・飼育環境と飼育体制と治療体制、 全て検証して改善すべき ・もう少し、飼育員さんを増やして、 動物たちに目が行き届くように してほしい <p>他</p>	<p>事故後、速やかに改善を図ることとした対 策としましては、以下のとおりです。</p> <p>(1) 動物の同居訓練開始にあたって</p> <p>安全確保のため、事前の見合い、精神安 定剤等の使用の有無、治療、同居時間、同 居中断のための準備、同居時の獣医師を含 む観察人員体制及びスケジュールなどに ついて、飼育展示課としての合意形成を図 ります。</p> <p>(2) 同居訓練時の監視体制について</p> <p>同居訓練においては、獣医師を含む複数 職員での観察を行うこととし、訓練実施や 中止などの適切な判断ができる体制を整 えます。</p> <p>(3) 実施の継続にあたって</p> <p>動物の行動変化、健康状態、怪我の有無 等や処置などの結果を踏まえ、飼育展示課 としてより慎重な可否判断を行います。</p> <p>なお、抜本的な対策については、札幌市動 物管理センターからの指示・指導を踏まえて、 早急に検討、実施する予定です。</p>
<p>7</p>	<p>今後のマレーグマ飼育に関す るご意見・ご質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウメキチは上野動物園に返すべき ・この程度のレベルの繁殖技術しか ないのであれば、繁殖はやめるべ き 	<p>今回の反省を踏まえまして、残されたウメ キチとハッピーのペアリングは、しっかりと 時間をかけて進めるなどし、慎重な繁殖と種 の保存に努めてまいります。</p>

	他	
8	<p>献花台に関するご意見・ご質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献花はいつまでできるか ・なぜ、献花台がマレーグマの展示室にないのか ・ウッチーのお墓は目立つところに設置して、二度とこのようなことが起こらないよう教訓にすべき <p>他</p>	<p>この度はたくさんの来園者の方からお花・お供物を頂戴しました。ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。</p> <p>献花台の設置場所は、原則として当該動物の飼育展示場所近辺としていますが、マレーグマを飼育展示している『わくわくアジアゾーン 熱帯雨林館』の「マレーグマ屋内展示場」前はスペースが狭く、『動物園センター』に設置することとしました。ご了承ください。</p> <p>なお、通常、献花台の設置期間は、概ね設置から2週間としていますが、ウッチーの献花台につきましては、8月末まで設置する予定です。</p>
9	<p>関係職員の責任・処分に関するご意見・ご質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当飼育員や獣医など、動物園はウッチーに関わったすべての者を厳罰に処すべき ・飼育員への再教育、または担当の変更を行ったか <p>他</p>	<p>日々の飼育業務については、組織として進めていました。</p> <p>なお、関係職員の処分につきましては、現在、関係部局にも報告しており、調査のうえ、問題点があれば、厳正に対処することとなります。</p>
10	<p>過去発生した複数回の事故に関するご意見・ご質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円山動物園は防ぐことができたであろう事故が多いような気がする ・安全対策など、動物優先で考えるべき <p>他</p>	<p>ここ数年の間、複数の自然死以外の死亡が続けて発生してしまいました。</p> <p>それぞれ原因は異なり、その都度、対応策を講じてきたところですが、今回、このような事故を引き起こしてしまったことにつきまして、大変申し訳なく、心からお詫びいたします。</p> <p>円山動物園では、一日も早く信頼を回復できるよう、事故再発防止のための対策を講じ、札幌市動物管理センターをはじめとする関係機関の指導・協力を仰ぎながら、今後、着実にこれを実施いたします。</p> <p>このような事故を二度と起こさないよう、動物飼育に携わる者として、動物愛護の観点に立ち、その使命を今一度強く自覚し、職員が一丸となって、全力を挙げて取り組んでま</p>

		います。
11	<p>アジアゾウの導入に関するご意見・ご質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾウの導入はやめた方がよい ・一頭一頭の適切な管理ができないのであれば、これ以上の動物の導入や繁殖を廃止すべきだと思う <p>他</p>	<p>平成 26 年 11 月 18 日に「ゾウ導入基本方針」を策定し、また、本年 7 月 22 日にミャンマーとの最終合意をしたところです。</p> <p>アジアゾウを飼育展示するにあたりましては、当園では準間接飼育を導入することとしております。この飼育方法については、人員を複数要することはもとより、知識や技術も必要となります。</p> <p>現在、同様の飼育展示方法を取っている他園館の情報を入手するとともに、海外も含めた専門家からのアドバイス等を随時いただいているところです。</p> <p>ゾウたちが安全に暮らしていけるように、万全の飼育体制を整備してまいります。</p>